

5月にリリースされる予定のMovable Type 3.0(以下「MT 3.0」)は、バージョン2.6が発表された2003年1月以来、1年4か月ぶりのメジャーバージョンアップだ。この間、シックス・アパートは会社化されて、2003年10月にはブログサービスのTypePadも開始した。日本でも、MTをはじめとするブログツールが急速に普及し、さらにISPなど多くの会社がブログサービスに参入するなど、ブログを取り巻く状況が大きく変化した。最近のブログ事情に合わせて、そしてシックス・アパートの日本法人が正式に活動を開始した今、

新しいバージョンでMTがどう変わるのか、詳しく説明しよう。

MT 3.0の利用に関するライセンスは、これまでと同様で、個人利用の場合は無料で使えるので安心してほしい。商用利用の場合はライセンスの購入が必要だが、MT 3.0のリリースに合わせて、これまでよりも商用利用しやすいライセンスプログラムも用意される予定だ。また、3月に設立されたシックス・アパート日本法人を通して、ライセンス料の決済やドネーション(寄付をすればいくつかの特典が付く)クレジットカードでできるようになる予定だ。



平田 大治
(ひらた だいじ)

Movable Type日本語化パックの作成、書籍『Movable Typeで今すぐできるウェブログ入門』インプレス刊執筆など、初期からMovable Typeの日本での普及に努めてきた技術者。シックス・アパート株式会社の技術担当執行役員に就任して、さらに日本語ユーザーに優しいMovable Typeを実現した。

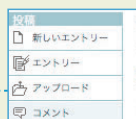
dh's memoranda
http://uva.jp/dh/mt/



これが新しい

Movable Type 3.0の ココがスゴイ

1 CSSを使った
柔軟な新インターフェイス



2 日本語化済みの
「日本語版MT」が配布される



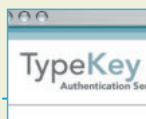
3 コメントやトラックバックの
管理機能が充実



4 プラグインが
より便利に使いやすく



5 TypeKeyの
コメント登録と連携



6 Atom Syndicationに加えて
Atom APIにも対応



1 CSSを使った 柔軟な新インターフェイス

MTで作られるウェブログでは、すでにスタイルシートを有効に活用したページが作られているが、MT自体の管理画面は、きちんとスタイルシートを利用したページにはなっていなかった。MT 3.0では、管理画面が作り直されて、スタイルシートを活用したシンプルなページに変更された(図1)。管理画面のデザインを変更した結果、アイコンと文字がきちんと分離され、各国語にローカライズするときの手間が省けるほか、フォントサイズの変更などにも柔軟に対応できるようになった。また、管理画面に変更を加えるプラグインを開発するときにも、ページの変更が簡単になる。

POINT 管理画面のカスタマイズが柔軟になり、さらにレスポンスもよくなるだろう。

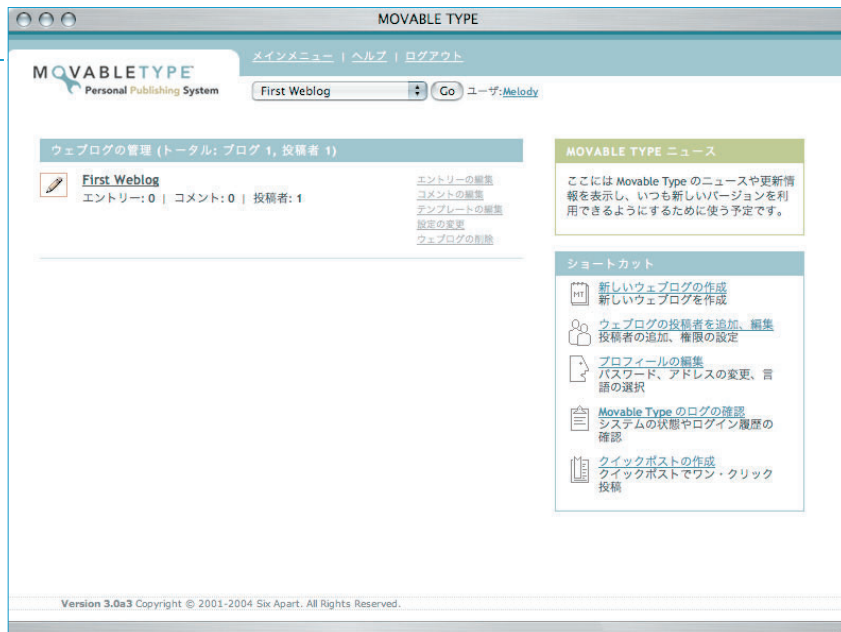


図1 ログイン直後の画面。基本的な画面構成は大きくは変わらないが、デザインし直されて、イメージが変わった。ロゴも新しくなっている。

2 日本語化済みの 「日本語版MT」が配布される

これまで、MTを使うには、オリジナルのMTに日本語化パッチを当てる必要があった。しかし、MT 3.0からは、日本語化済みの「日本語版 MT3.0」が配布される。

MT自体のインストール方法などに大きな変化はないが、日本語版MT 3.0を使えば日本語化の作業が必要ないため、初心者でもインストールは楽になるだろう。もちろん、標準でログイン画面から日本語化された状態になる予定だ(図2)。

POINT 難しかったインストール作業がかなり簡略化される。



図2 日本語版では、何も設定しなくてもログイン画面からいきなり日本語で表示される予定だ(もちろん英語に設定することもできる)。

旧バージョンからの 移行もバッチリ

これまでのMTのバージョンアップのときと同様に、既存のMTで作ったウェブログをそのままアップグレードできる。アップグレードインストール用のパッケージを入手してサーバーにアップロードしたら、専用のスクリプトを起動するだけで、元には戻せないで、アップグレード前にバックアップを作っておくことをおすすめする。

また、データベースに保管されているウェブログデータのEUC-JPやUTF-8などの日本語文字コードも変換できるようにする予定だ。これまで一度文字コードを決めると変更は大変だったが、日本語版MT 3.0には、データベースの中身の文字コードを変換するスクリプトが添付される予定だ。アップグレードは、変えたかった文字コードに変更するいい機会になるだろう。

3 コメントやトラックバックの管理機能が充実

最近、MTで作られたサイトが増えるにつれて、コメントスパムが横行するようになってきている。コメントスパムとは、ブログの内容に無関係なコメントを付けるもので、場合によっては1つの記事に数百個のコメントを付けられてしまう場合もある。単なるいたずらや荒らしのためのコメントだけではなく、Googleなどの検索エンジンでの評価順位を上げるために、リンク数を増やす目的で行われるスパムも多い。これまでもコメントスパム対策はとられてきたが、MT 3.0では、コメントやトラックバックを管理するための機能を充実させた。

コメントの管理画面では、コメントの内容やエントリーの名前、IPアドレスやコメントを投稿してくれた人(コメント)の一覧が表示される。これで不要なコメントは簡単に一括削除できる(図3)。また、投稿されたコメントをすぐにウェブブログに表示するのは



図3 ブログ管理画面の左のナビゲーションに「コメント」と「トラックバック」が追加されている。コメントの管理は後の「TypeKey」で詳しく解説する。コメント管理画面ではコメントをさまざまな条件で検索できる。検索で見つかったコメントが表示される。各コメントに対して、「保留」「許可」「拒否」を設定できる。

なく、管理者が許可するまでは表示しない「モデレーション」機能も追加されている。

POINT スパム的なコメントやトラックバックへの対応が楽になる。

4 プラグインがより便利に使いやすく

MTでは、これまででも、Perl APIを利用したり、プラグインのインターフェイスを利用したりして、独自にタグを拡張するなどできた。MT 3.0では、プラグインのためのインターフェイスがさらに充実する。たとえば、プラグイン用にデータを保存するための仕組みなどが用意され、これまでよりも高機能なプラグインを作成できるようになる。

これまで、管理画面に新しいボタンを付けるなどして機能を追加するには、MT本体のファイルにパッチを当てるなどしなければいけなかったが、プラグインを開発してインストールするだけで実現できるようになる。また、インストールされているプラグインの情



図4 MTの管理画面に、現在有効になっているプラグインが表示される。使っているプラグインの情報をMTの管理画面からシームレスに調べられるようになるのは、プラグインを多用している人には便利だろう。

報がMTの管理画面に表示されるなど、開発をしない一般のユーザーにとっても、さらにプラグインを使いやすい仕組みになる。

POINT 開発者にもユーザーにもさらにプラグインが使いやすく。

5 TypeKeyのコメント登録と連携

管理機能が充実しても、ブログに多くのコメントが付くようになると、コメントの確認は大変な作業になる。信用できる読者のコメントならば受け付けたいが、名前だけで本人だと信用できるとは限らないので、結局毎回コメントを見て確認することになる。

MT 3.0は、「TypeKey」という、コメントを認証する新しい仕組みと連携できる。TypeKeyは、MT 3.0のリリースと同時にシックス・アパートが開始する予定の、新しいサービスだ **URL**。TypeKeyにはだれでも無料でコメント者として登録できて、一度登録すれば、TypeKeyと連携するどのウェブログへのコメントでも、同じTypeKeyユーザー名で本人だと証明できる。実際にコメントするときには、いったんTypeKeyのサイトに転送されて、TypeKeyのユーザー名とパスワードを入力してユーザーが確認されたら自動的に元のウェブログの画面へ戻ってコメントを投稿できるようになるのだ (図5)。

ブログのオーナーはTypeKey登録コメン

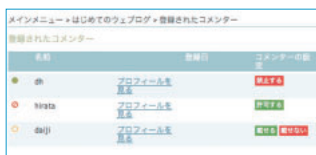
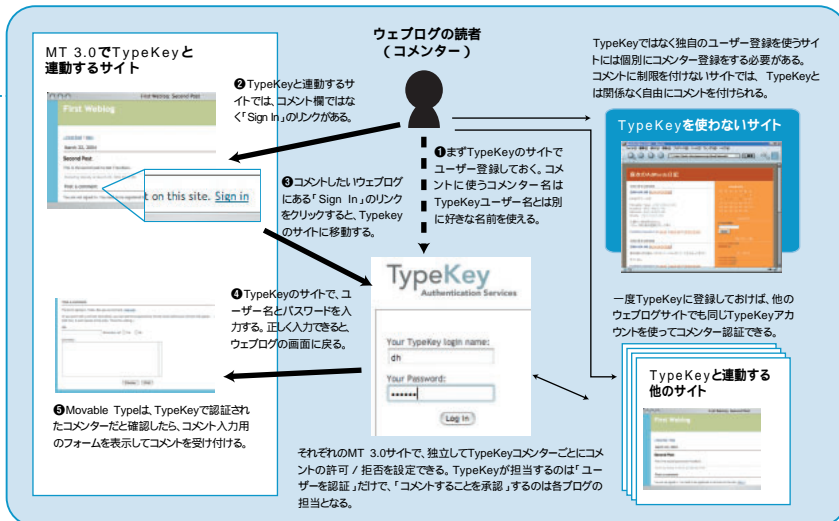


図5 TypeKeyは、ブログツール側もコメント者側も無料で使える、コメント認証の「シングルサインオン」サービスだ。Movable Type 3.0では簡単な設定だけで利用できる。さらに、MT以外のブログツールでも利用できるように技術情報が公開される予定だ。

図6 コメントごとに、コメントの投稿を許可 / 禁止 / モデレートに設定できる。常連さんのコメントは常に許可するだけでも、問題がないかを確認しなければいけないコメントの数は大幅に減るはずだ。

ターごとにコメントの「許可」「拒否」「確認するまで保留」を設定できる (図6)。初めてのコメント者からのコメントを自動的に掲載するか最初に確認するまでは掲載しないかや、TypeKeyを利用しないコメントも受け付ける

かなども設定できる。

URL <http://www.typekey.com/>

POINT だれでも無料で使えるワンストップのコメント認証システム。

6 Atom Syndicationに加えてAtom APIにも対応

MT 3.0では、昨年からブログ界の話題になっていた新しい規格「Atom」を大規模にサポートする。これまでも、Syndication (サイト間連携)のためのXMLフォーマット「Atom Feed」はすでにサポートしていたが、MT 3.0では、ブラウザ以外のアプリケーションや携帯電話などから記事を投稿したり編集したりするなど、ウェブログをさまざまに操作できるようにする「Atom API」にも対応する。

これまで、「XML-RPC」という技術を用

いた同様の仕組みは「metaWeblog API」や「Blogger API」など何種類もあったが、ツールごとに採用する技術に違いがあった。しかし、Atom APIの仕様は、Bloggerなど他の有力ベンダーとも協力して規格化が進められてきたため、Atomが標準的な技術として一般的になれば、ツール間の差異は以前と比べて小さくなると期待される。Atom APIをサポートしたアプリケーションはまだ少ないが、海外では、Nokiaの携帯電話に搭載されるなど、広がりを見せている。

MT 3.0のAtom APIサポートは、さまざまなツールが作られるのを加速すると考えてもいいだろう。

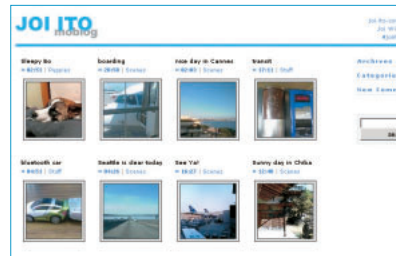


図7 携帯電話から写真付きで記事を投稿する「モブログ」は、現在は専用のサービスを使わないと実現が難しいが、Atom APIが一般的になれば、どんな携帯電話からでもMTのサーバーに直接記事を投稿できるようになるかもしれない。

POINT ウェブログを便利にする汎用ツールがさらに一般的になる可能性を秘める。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp